

京都府長田野工業用水道事業の紹介

○事業の主旨

長田野工業用水道事業は、京都府総合開発計画における府北部開発の根幹的事業の一つとして、「近畿圏の近郊整備区域及び都市開発区域の整備及び開発に関する法律」に基づいて造成された長田野工業団地に立地する工場等に、生産活動に不可欠な工業用水を安定供給するために実施された事業である。

平成6年からは、新たに造成された綾部工業団地にも給水を開始し、両工業団地に給水している。

○事業の経緯

長田野工業用水道事業は、京都府総合開発計画において、府北部開発の根幹的事業として福知山市に長田野工業団地の建設が計画され、この工業団地に立地する工場等に工業用水を安定的に供給するため、昭和46年4月に施設の建設に着手し、47年5月に由良川からの水利使用許可を得て、同年11月から給水を開始した。

第1期工事として、49年3月に1日最大給水量18,575 m³の施設を、また、第2期工事として、57年3月に1日最大給水量37,150 m³の施設をそれぞれ完成させた。

62年4月には、業務運営の効率化を図るため、組織の再編とあわせて施設の近代化を実施し、京都府公営企業管理事務所を設置し、運転・管理を行っている。

平成3年4月には、隣接する綾部市に京都府が造成した綾部工業団地にも給水を行うため、拡張工事に着手し、6年4月から同工業団地に給水を行っている。

長田野工業用水道事業では、近年、受水企業における循環型ラインの採用や経費節減に伴う節水等による給水量の伸び悩みにより、厳しい経営状況が続いており、また、施設の老朽化もかなり進んでいる状態であり、今後も厳しい経営環境が予想されることから、より一層の経営改善に取り組み、効率的な事業運営を目指し、工業用水の安定供給に努めていく。

○工業用水道施設の概要

長田野工業用水道では、豊かな水を保っている由良川の表流水を取水し、取水ポンプ及び導水ポンプにより浄水場内に導水している。場内では、導水した河川

○ユーザーの概要

(平成19年3月末)

| 業種 | 給水件数 | 契約水量 (m ³ /日) |
|-------|------|--------------------------|
| 金属 | 6 | 3,910 |
| 機械 | 6 | 2,810 |
| 窯業 | 1 | 1,900 |
| 輸送用機器 | 1 | 240 |
| 化学 | 7 | 6,640 |
| 製紙 | 1 | 8,900 |
| 鉄鋼 | 2 | 400 |
| 食品 | 5 | 1,430 |
| 住宅資材 | 1 | 250 |
| ゴム | 1 | 650 |
| その他 | 5 | 40 |
| 合計 | 36 | 27,170 |

水の濁度によって凝集剤及びアルカリ剤を注入後、沈でん処理した水を長田野、綾部両工業団地に給水している。

送配水管は管径700mm～50mmのダクタイル鋳鉄管で、総延長は30kmに及んでいる。

○事業の特徴（工業団地の特徴）

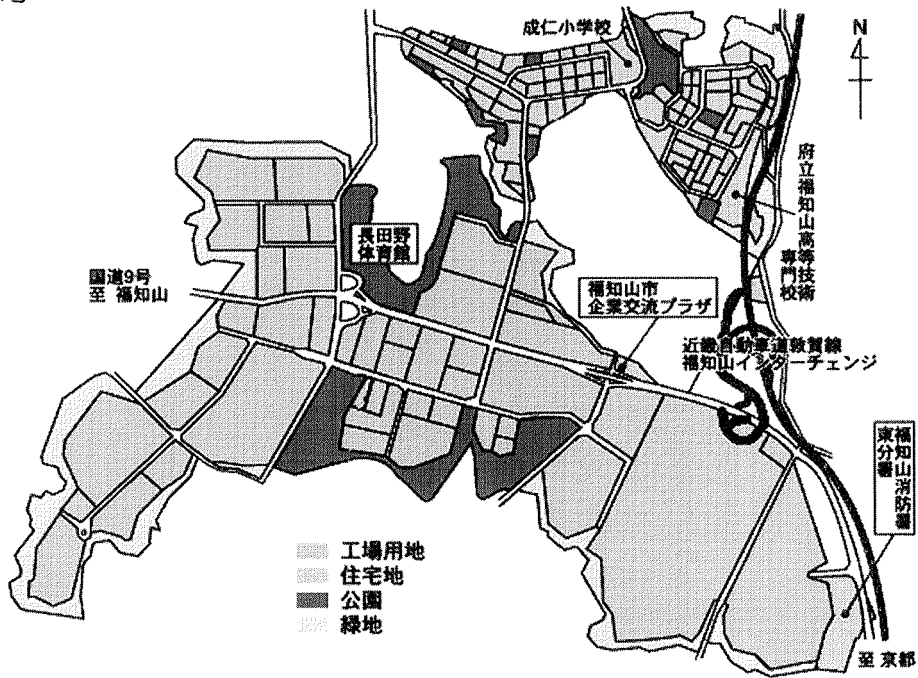
わが国有数の内陸型工業団地として福知山市に造成された長田野工業団地は、地域社会と協力し公害のない調和あるまちづくりを目指しており、同市に隣接した綾部市に造成された綾部工業団地では商工業の振興と雇用の創出を図り、地域の活性化を進めるなど新しい工業団地づくりに努めてきているところである。

○京都府企業局のホームページアドレス

<http://www.pref.kyoto.jp/koei/kougyou/index.html>

○給水区域図

長田野工業団地



綾部工業団地

